*DOVA TRAVEL EXPRESS*

2020　９月号

発行元　株式会社DOVA TRAVEL　　責任者　土橋 泰行

愛知県名古屋市西区名駅2-25-10 TEL （０５２）５７１－３０５６　FAX （０５２）５７１－３０１９

国内のGO　TO　キャンペーンも皆様からのご理解を得られていない状況での出発となりました。マイクロツーリズムで少人数でのご案内を徹底している所です。不定期かつ限定的な海外渡航が始まりましたが、各地の現地からの情報は、まだまだきびしい状況にあると思われます。比較的感染者が抑えられ、渡航業務を再開すると思われている地域を中心にお届けします。情報の精査が確認できたところから、随時情報をアップしたいと思います。**各国の保健機関の出しているガイドラインは、日本ので出されているのとほぼ同じです。**

**三密を避ける・マスクをする・2メートルの距離を保つは基本事項となっています。**

**正直海外の旅行のご案内ができる状況ではありません。**

**※現地の情報と各国、州の知事宣言等を基にまとめています。**

|  |  |
| --- | --- |
| ハワイ州  ホノルル  ハワイ島 | ８月１９日　ホノルル市、郡は緊急事態命令が出されました。外出禁止令もだされました。基本ビジネス店舗は閉鎖を求められています。  ビジネス、及び必要最小限な活動には除くとされています。ショッピングモール  小売業、レストラン業、介護、不動産、理美容、音楽教育等については、2メートルの社会距離を保つこと、衛生条件を守ることが基本です。  現在、公立の公園、ビーチは閉鎖です。  アラモアナショッピングセンターは６割程度が開いています。ドン・キホーテ等は地元客で混んでいます。  ハワイ島はお持ち帰りの対応がほとんどです。ウォルマート、ターゲット等は普通に買い物できます。  ビーチも泳ぐ目的以外は日焼けを楽しむという感じではありません。程度開いていますが、買い物客はほとんどいない状況です。ドン・キホーテ等の普通のローカルなお店は地元客が結構います。カラカウア通りはサーファー以外基本いない状況です。  **※日本―ハワイ間の渡航者に関して、隔離措置無しで入国を認める「トラベルバブル」計画については、今回の発表に含まれておりません。引き続き自己隔離措置が必要です。**  **事前調査で陰性が証明できる渡航者に対する14日間の自己免疫免除プログラムの実施も、10月1日以降に延期になりました。**  ソーシャルディスタンスを守る取り組み、入国、出国、空港からの移動等の取り組みをルール化させる調整を現在しています。**基本は日本と同じ消毒、手洗い、**  **マスクの着用、ソーシャルディスタンスを守ることは必須です。**  **今現在は観光客を受け入れる状態にはないと思われます。** |
| グアム | グアム自治州の発表では、８月1６日より２度目のロックダウンにはいりました。これも延長が続く感じです。食料品、病院、生活に必須な業種以外は閉鎖という３月末の状況に戻っています。規制緩和で町のレストランがオープンしたり、新しいホテルのオープンもありましたが、現在は閉鎖しております。  日本を含む、韓国、台湾等の観光客はほぼゼロです。最近ユナイテッド航空のハワイ便で感染者が発覚し、全旅客が隔離される事態が起こり、安全性の確立がされていないため、しばらくは難しいと思われます。  JAL、大韓航空、チャイナエアーなど９月末まで、ユナイテッド航空は週１０便を予定していますが、まだ実施できていません。  **基本14日間の自主隔離措置は継続になります。**  **完全な観光客の受け入れは年内まで厳しいと思われます。** |
| タイ  バンコク  プーケット島 | 現在は外国からの帰国者からの感染がみられますが、国内におきましては市中感染が無い状態が続いています。タイ国内での生活は、今まで通りになりつつあります。しかし、タニヤ、パタヤ、プーケットのバングラ通りなど外国の客様で成り立っていた地域は全く活気がありません。密入国者が多くなり、感染者が増える心配もあります。  最近入り口の消毒液を使用する人が少なくなっており、再度注意喚起されていますで。屋台、市場はかなり活気を取り戻してきています。  **WE　TRAVEL　TOGETHER　タイ版　GO　TO　キャンペーンが実施されています。**旅行代金の４割負担、約２５００円の食事券付きです。国内線ターミナルは、島への移動（リゾート地）で結構混雑しています。  **外出時は基本マスク着用、入店時に検温、スマートホンのQRコードで読み取りチェックインが義務化しています。**  **プーケットに関しては、１０月１日から日本からの観光客の受け入れについて規制緩和対象になります。14日間隔離措置はかわりませんが、プーケットで過ごすのであれば、限定された地域の移動は認められます。**  **８月１９日から国際郵便が再開されました。（３月末より休止）** |
| ベトナム | ベトナムでの市中感染者は、しばらく0が続いていましたが、数か月ぶりにでました。現在はダナン、ホイアンがロックダウンのような状態です。  ハノイ、ホーチミンは普段の生活を送れています。  政府の事前承認があれば、外国人の入国も認めています。入国後の１４日間の強制隔離は変わっていません。日本からのチャーター便も定期的に入ってきていますが、ハノイの空港ではなく近郊の空港に到着しています。ハノイ、ホーチミンは外出時にマスクの着用がされていないと罰金対象です。  観光目的のお客様は、基本の乗り換えも入国も禁止の状態です。  **現在海外からの観光客は受け入れていません。**  **観光客の具体的な受け入れ時期は明確な発表はありません。**  **10月24日からベトナムー日本路線再開予定** |
| インドネシア | **外国人の全面的入国禁止の措置は、目的問わず現在も続いています。**  ジャカルタは９月１０日まで大規模社会制限が延長されました。  長い自粛生活が続いていますが、民族的、国の文化もあり、守らない人も多く、かなり感染者が増え始めています。１８万人以上の感染者が発表されていますが、実際にかかっている人はもっと多いと推測されています。  国内旅行は8月1日より緩和され、ホテル等は再開され、入場制限を設けているショッピングモールも混雑し始めています。  宗教的行事、集会は大きく制限がされている状況です。  仮に規制緩和になったとしても、14日間の隔離から始まると思われます。  10月1日から成田―デンパサール　関西―デンパサール線再開予定  日本から不定期便は運行しています。 |
| オーストラリア | **外国人の全面的入国禁止の措置は、目的問わず現在も続いています。**  国際線は基本全面的に運休　10月末まで　一部片道運行などあり  国内線の移動も人数の上限制限があります。  規制緩和のステージ3に移行している最中です。  州によって違いますが外出制限の解除が始まっています。 |
| シンガポール | **行動制限措置（サーキットブレーカー）は解除されました。**  外国人労働者のコロナウイルス検査が全面的に行われている。  観光施設は通常の25パーセントの入場制限で再開しています。  9月中にビジネス関係者の入国ができるように調整中  （14日の隔離の制限、待機を含めて調整中）  仮設の大型収容施設も段階的にベット数を減少させています。  一部の国（ニュージーランド、ブルネイ）は条件付きで観光旅行者を受け入れることで調整が始まる予定です。日本は含まれていません。9月中予定 |
| マレーシア | **外国人の入国禁止の措置は、目的問わず現在も続いています。**  **（シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドについては、一定の条件のもと緩和措置が取られています。**  国内での条件付き活動制限令が12月31日まで延長される。  ショッピングモールは混雑していますが、観光地は閑散とした状態です。 |

**※海外の渡航についてはまだまだ厳しい状況が続きます。ワクチンの接種についてもアメリカの住人は、接種に積極的ではないと伝えてきています。陰性証明書の共有で入国制限が短期になることの調整等は、引き続き行われていくと思われます。**

**過日中部国際空港へ所要があり行ってきました。お土産、飲食店は一部休業していました。普段は混雑しているまるは食堂、鈴波も閑散としていました。フライトオブドリームは飲食店も休業中でした。国際線はほぼ運休、国内線も調整運行が続いています。**

**駐車場も閉鎖されている場所がありますのでご注意ください。**

**国内線のカウンター、ラウンジ、商業施設はコロナ対策は十分にされています。みなさまも除菌ティッシュ、マスクの装着、手洗い、ソーシャルディスタンスを保って頂ければ、お食事、ショッピングをして頂いても問題ないと思われます。**